

知っていますか？ 消防団の歴史



(葉山町消防団 第1分団 荒本広之団員 寄贈)

消防団の歴史は古く、江戸時代、八代将軍吉宗が、江戸南町奉行の大岡越前守に命じ、町組織としての火消組である店火消(たなびけし)を編成替えし、町火消「いろは四八組」を設置させたことが今日の消防団の前身であるといわれています。各火消組に「いろは」の名前を付けたことにより、お互いの名誉にかけて競い合っ

て働くという結果が生じ、消防の発展に大きな成果を得ることとなりました。東京府下の消防は、明治7年に新設されましたが、全国的には公設消防組織は少なく、ほとんどが私設消防組でした。そこで政府は効率的な消防組織の育成を図るため、明治27年以降、消防組を府県知事の管掌とし全国的な統一を図りました。以降消防組は知事の警察権に掌握された組織でしたが、戦後、米国調査団の報告により、警察組織の改革において警察と消防の分離が勧告され、新たに全国の市町村に自主的民主的な「消防団」が組織されることになりました。これにより消防が警察から分離独立することとなり、消防事務がすべての市町村の責務となりました。

また、昭和23年には消防団に関する指揮監督権が警察組織から市町村長(消防長)に移されました。

このように消防団は江戸時代に義勇消防の元祖として発足して以来、様々な変換を経て今日に至っています。ちなみに現在の葉山町の消防団は昭和35年に「葉山町消防団条例」により正式に発足していますが、町の消防本部は、昭和43年に「葉山町消防本部等設置条例」を制定し、消防団よりも遅れてスタートしました。町の消防本部よりも前に消防団は正式に組織化されていたのです。



消防団 創刊号「だより」

【発行日】 2025年2月
【発行元】 葉山町消防本部消防総務課
【連絡先】 ☎046-876-0146
消防団だよりは年1回(秋頃)発行です。



消防団だよりの 創刊に際して

葉山町長 山梨 崇仁

葉山町の地域防災力の要、葉山町消防団の皆様「消防団だより」の創刊、誠にありがとうございます。

消防団は火災や水害の対策が十分でなかった時代から、常備消防よりも前から、いざというときの地域の力としてご活躍いただいていた長い歴史があります。また、町民の皆様への防災啓発活動のほか、年間を通じての定例会、研修・訓練、そして歳末の特別警戒など、分団員の皆様の大切な時間とお力を地域のため、仲間のため、崇高な消防精神を先人より受け継ぎ、守ってきてくださいました。全ての団員の皆様へ、深く感謝申し上げます。

昨今では、防火対策の推進により、火災件数こそ減少しておりますが、気候変動による風水害の激甚化や土砂災害の多発化、さらに、近い将来、発生が指摘されている大規模地震などにより、防災対策が最優先課題として取り組まれるようになりました。

その中であって、各地域における防災力の充実・強化に消防団は欠かすことのできない存在となっています。消防団の資機材や車両整備を着実に進め、本年4月からは機能別団員制度を創設し、更なる強化に取り組めます。

機能別消防団員の方々には、災害発生後の避難誘導や避難所生活が長期化した際の避難所運営支援、AEDを用いた救急救命講習の実施、消防団活動のPRや町内会、自主防災組織との連携強化など、様々な分野において活動していただきます。

これからは、消防団の活動をより多くの方々に知っていただき、災害への備えに対する意識を町民の方々とともに高め、地域連携をさらに強化しなければなりません。そのためにも本書がより多くの方々に読まれ、消防団が地域のヒーローとなり、分団活動の強化・支援の輪がさらに広がることを願っております。

重ね重ねではありますが、日頃より地域の火災防ぎや防災活動にご尽力いただいているすべての団員の皆様へ敬意を込めて心から感謝を申し上げます。

ともに葉山町のため、全ての町民の皆様の笑顔のため、力を尽くしてまいります。



葉山町消防出初式 令和7年1月

消防団は何してる？

葉山町消防団は6つの団から構成され、各地区に配置されています。消防団員は、現在160名おり、非常勤特別職の地方公務員として、それぞれの仕事をしながら空いた時間に活動しています。活動の内容は、火災の鎮火、台風などの被害への対応、その他 お祭りや花火大会の警備に加え、様々な訓練、火災に備えて消火栓や防火水槽などの点検作業も行います。団員は「我が町は、自分達の手で守る」という精神からプライベート時間を割いて活動し、有事に備えています。

昨年11月に厚木市にある総合防災センター災害訓練場において実施した、消防署と消防団の合同訓練では、エアーテントの設置、車に閉じ込められたり、土砂に埋もれた要救助者の救出、チェーンソーやエンジンカッターなどの救助資機材を用いた訓練や災害時の情報伝達の訓練を行いました。



葉山町消防団の現況

定数 198名
実員 160名
充足率 80.8%



▲ エアーテントの設置



▲ 車からの救助



▲ 土砂に埋もれた要救助者の救出



▲ チェーンソーを用いた訓練

本業じゃないのに知識を持っているの？

消防団員は、消防職員とは異なり、普段は自身の仕事をしながら有事の際に消火活動や災害救助の現場活動を行うことから、消防学校などで講習やWeb研修などを受講し、消防職員と同様の知識や技術を習得します。

研修内容の一例を挙げると、消防自動車の操作、緊急走行、火災の性質や防ぎょ・燃焼条件と消火理論、土砂災害対応、倒壊家屋からの救助、災害現場での指揮方法など様々です。研修は在団年数や階級に合わせて難易度が高くなります。しかし、このように火災や災害に対する知識を備え、救助資機材取り扱いの技術を習得することは、自分自身や家族を守るためにも大いに役立ちます。



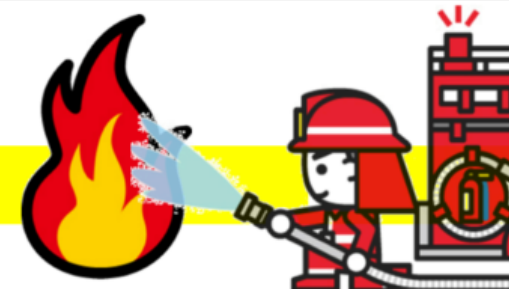
機能別団員制度がスタートします

葉山町では、地域防災力を更に強化するため、特定の活動(役割)のみに参加する 機能別団員制度を令和7年4月1日から導入します。役割としては災害時の避難所運営支援や平常時の救急救命講習会の講師など、平常時の活動ベースとしては、年間10日間程度ご協力いただける人を募集します。

「手話ができる」「外国語に自信がある」「消防行事のアナウンスならOK」「災害対応への知識が欲しい」「広報紙の編集は得意」など 町のため、自身の家族の安心・安全のためにも是非、ご協力ください。従来の消防団員、機能別消防団員どちらも報酬を支給します。詳細については、消防総務課へご連絡ください。

あなたにもできることがあります

消防団員募集



葉山町消防団

VOLUNTEER FIRE CORPS

お問い合わせ

葉山町消防本部消防総務課

046-876-0146

syousou@hayama.kanagawa.jp

